

オンライン型国際教育交流の可能性

令和2年度HUCI&教育改革室フォーラム
「北海道大学における国際オンライン授業の現在と未来」

高橋 彩
総長補佐
北海道大学高等教育推進機構・教授
2020年11月9日（月）

COVID-19と国際教育交流

- ▶ 大学行事（卒業式、入学式）の中止等
- ▶ 1学期授業の開始時期の変更
- ▶ オンライン授業
- ▶ 各大学における対策本部等の設置、行動指針の策定
- ▶ 学生・教職員の行動制限や自粛等
- ▶ 国際的プログラムの中止・延期
- ▶ 4月入学生の渡日、一時出国していた学生の帰日できず、帰国困難

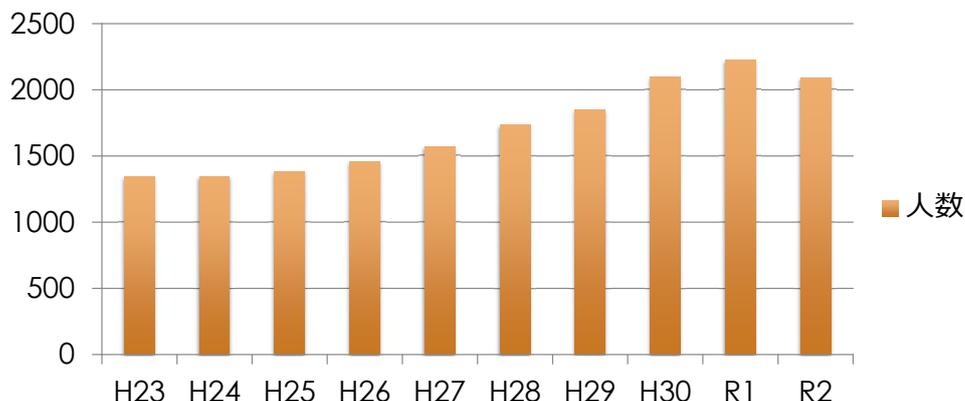
北海道大学の国際教育交流への主な対応

- ▶ 【3月16日】「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生の海外派遣及び外国人留学生受入れにおける対応について（通知）」
 - ▶ 国の入国拒否や水際対策に沿った対応
- ▶ 【4月6日】「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生の海外派遣及び外国人留学生受入れにおける対応について（通知）（第2版）」
 - ▶ 学生の受入れ・派遣について新たな移動を伴う活動は原則行わない
- ▶ 【6月22日】「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生の海外派遣及び外国人留学生受入れにおける対応について（通知）（第3版）」
 - ▶ 2学期の派遣は一定の条件を満たした場合に実施可能（本学BCPLレベル1以下、外務省感染症危険情報レベル1以下、水際対策の遵守等）
 - ▶ 学位取得課程外は一部を除き受入れ不可

北海道大学 外国人留学生数

北海道大学外国人留学生数の推移

- ▶ 昨年度同時点からマイナス130
- ▶ R2.10入学者は前年の約52%
(767→401暫定値)



* 毎年5月1日時点
* 「留学」以外の外国人留学生は含まず

世界的な留学生への影響

Erasmus Student Networkによる、学生に対するコロナによる影響についての調査（2020年3月）

- ▶ 2/3が留学を継続
- ▶ 51%が完全なオンライン授業

出典：Erasmus Student Network, 'Student Exchanges in Times of Crisis: Research Report on the Impact of COVID-19 on Student Exchanges in Europe'（2020）

参考：大学改革支援・学位授与機構QA UPDATES 記事「新型コロナウイルスがもたらした留学への影響 – 欧州地域に留学する学生へのアンケート結果から」

https://qaupdates.niad.ac.jp/2020/08/13/student-exchange-esn-corona/?utm_source=mailmag&utm_medium=email&utm_campaign=200820（2020.11.8閲覧）

世界的な留学生への影響—懸念

OECDによるレポート

- ▶ 学びの継続
- ▶ 受入れ国での留学生の法的身分と安全
- ▶ 学生の留学の価値に対する見方
- ▶ 十分な代替とはなり得ないオンライン授業（poor substitute）
 - ▶ 短期間での移行における学生・教員の対応
 - ▶ 国際的な体験の喪失
 - ▶ 就職市場へのつながりやネットワーキングの機会

出典：Andreas Schleicher, 'The Impact of Covid-19 on Education: Insights from Education at a Glance 2020' (OECD, 2020), pp.9-11.

オンラインでの取組（国内外）

- ▶ オンラインによる海外研修・留学プログラム等
- ▶ オンラインによるサマースクール（例：ユトレヒトサマースクール）
- ▶ オンライン留学フェア・説明会（例：DAAD、British Council）
- ▶ COIL型教育（Collaborative Online International Learning）
例：世界展開力強化事業
（COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援：2018年度）
- ▶ 国際教育に関するオンラインウェビナー、セミナー等（例：Times Higher Education、JAFSA、RECSIE）
など

北海道大学

2021年度交換留学への
応募と手続きについて

学務部国際交流課

オンライン
交換留学
説明会

オンライン
留学
フェア等
の案内

共修科目
の案内

留学を
考えている方
Thinking about Study Abroad

留学が決まった方・
留学中の方
Study Abroad Useful Information

留学から
帰国した方
Returning from Study Abroad

Home
News & Topics

トップページ > News & Topics > 外国人留学生と共修可能な科目について

外国人留学生と共修可能な科目について

2020/9/29

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本学では9月までの海外派遣は行わないこととし、10月以降の派遣についても状況により各派遣プログラムの実施可否を検討することとなっています。

今年度の留学を検討していた方には残念な状況ではありますが、本学には選航を伴わない形で外国人留学生と共修することで語学力や異文化理解を向上させられる科目が整備されています。これらの科目は所属学部（研究科・学院）に関わらず履修が可能となっていますので、海外留学の代替として、また今後の派遣プログラム再開に備え、是非これらの科目の履修をご検討ください。

| 科目名 | 概要 | 履修レベル |
|---------|--|---------------------|
| 国際交流科目 | 学際的・先端的なテーマを入門レベルから専門レベルまで提供し、授業は原則として英語で行われます。 | 全学教育科目～大学院レベル |
| 多文化交流科目 | 留学生とともに日本語で学ぶ問題解決型・プロジェクト型の授業。少人数の授業で、コミュニケーション力、異文化理解力等の向上を図ります。 | 全学教育科目（一般教育演習として開講） |
| 専門横断科目 | ・Hokkaidoサマー・インスティテュート（とキャリア・デザイン） 的な教養、専門性を追求する上で必要と や手法を身に付けることを目的としてい | 専門科目（学部2年次以上対象） |

る専門領域の基礎的教養を深めるとともに、学際的・社会的課題の解決に寄与する人材を育成することを目的としていま

大学院レベル（科目により学部学生の早期履修も可能）

JAFSA(一般財団法人海外推進協会)オンライン留学フェア2020開催

2020/9/24

一般財団法人海外推進協会（JAFSA）では、2020年9月24日（日）に遠隔型「オンライン留学フェア2020」（申込無料）を開催する事になりました。

第一部 10:00～11:00 【留学フェア】
第二部 10:00～11:00 【オンライン留学フェア】
第三部 10:00～11:00 【オンライン留学フェア】
第四部 10:00～11:00 【オンライン留学フェア】
第五部 10:00～11:00 【オンライン留学フェア】

北海道大学「留学ガイド」ウェブサイトより（一部学内のみ）

オンライン型教育の現状整理

学生の国際移動の前提
なくなる



国際教育交流の
中止・延期

オンラインによる
国際教育交流

学びの継続

新たなプログラムの開発・
市場開拓

再開への準備・プロモーション

新しいコンセプトでの国際的
教育

国際的オンライン教育交流をめぐる困難

通常のオンライン授業の課題に加えて...

- ▶ 時差
- ▶ ネット接続環境（国・地域）
- ▶ 心の健康
- ▶ その他

現場での工夫・
挑戦

コロナ禍での気づき・再認識

- ▶ 「体験」はできないが、提供できるものもある
- ▶ より広い学生への国際的な学習機会の提供
- ▶ 教育提供内容・方法の幅広がる
- ▶ 国際教育交流の問い直し
- ▶ 教職協働の重要性

多くの大学がオンライン活用に関心

- ▶ 「スーパーグローバル大学創成支援事業」及び「大学の世界展開力強化事業」採択校に対する緊急アンケート結果（第1回）の報告
- ▶ 留學生教育学会：フォローアップ調査「新型コロナ流行と留学事業について大学向けアンケート」（調査速報：8月6日）
派遣・受入留学の「オンライン化は加速するもしくは加速させるべき」に対し、肯定する回答が約7割

出典：留學生教育学会・近藤佐知彦「新型コロナ流行と留学事業について大学向けアンケート取りまとめ」2020.8.6

https://jaise.org/data/20200806-JAISE-Rapid_Report-University-Followup-r1.pdf（2020.11.7閲覧）

「スーパーグローバル
大学創成支援事業」及
び「大学の世界展開力
強化事業」採択校に対
する緊急アンケート結
果

対象50大学

○コロナ終息後を見据えた、高等教育機関のあるべき国際化の方向性
(いわゆる国際化のreshapingの是非・必要性等)

| 実際の留学とオンラインによる交流とを合わせた Blended/Hybridプログラムへの見直し | 43 |
|--|----|
| 日本人学生の派遣については、今後は量より教育や学びの 質をより重視する。 | 26 |
| 外国人学生の受入については、今後は量より教育や学びの 質をより重視する。 | 25 |
| コロナの世界的状況を見ないと現時点では何とも言えない。 | 17 |
| 交流する相手国・大学を増やすのではなく、既存の交流先で より良い人材(学生や教員)の確保を目指す。 | 15 |
| 新規開拓地域を含む交流相手国・大学については、 当該国・大学におけるコロナ対応を重視する。 | 13 |
| 日本人学生の派遣については、量的拡大を目指す。 | 7 |
| オンラインによる交流を主軸とした方針への転換。 | 6 |
| 外国人学生の受入については、量的拡大を目指す。 | 5 |
| その他 | 5 |
| 検討中 | 4 |

★8割を超える大学が「実際の留
学とオンラインによる交流とを合
わせたBlended/Hybridプロ
グラムへの見直し」を模索している。

【その他又は検討中(具体的内容)】
・質と量をともに追求。
・コロナ後の立て直しに関して検討中。
・受入先とのICTを活用した協働学習の模
索。オンラインによる交流を模索しているが、
派遣・受入可能性も残しており中長期的構
想はまだ検討中。

オンライン国際教育交流の可能性

国際移動を伴う教育のレジリエンス強化

国際教育へのアクセスの拡大

国際教育における学びの質向上と経験の厚みを増す

*** 今後の検証が必要 ***

高等教育とりまく状況、そしてコロナ

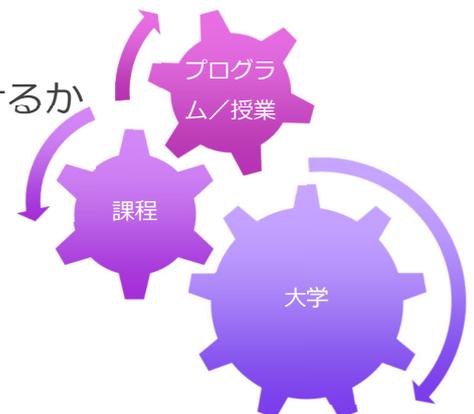
- ▶ コロナ禍と経済的問題：高齢者・障害者・保護者の生活・経済など
- ▶ デジタル・トランスフォーメーション：オンライン授業、大学発行証明書のデジタル化
- ▶ Withコロナ時代の大学：社会との関係、実感、知識基盤社会の再認識
- ▶ STEAM教育
- ▶ 人生100年時代：生涯教育

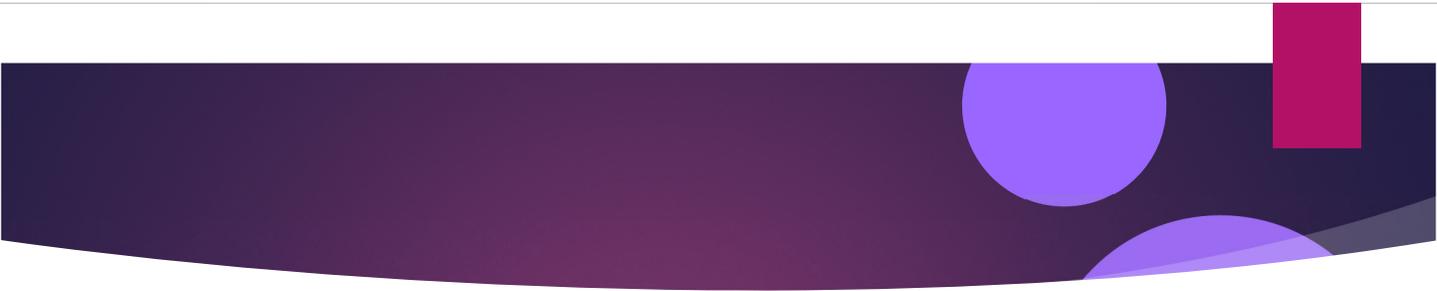
日本社会と大学の
国際化

Afterコロナを見据えた国際教育交流へ

オンライン

- ▶ 大学レベル
 - ▶ グローバル社会で自らの大学をいかに位置づけるか
- ▶ 課程レベル
 - ▶ 教育・学習経験の質保障
- ▶ プログラム/授業レベル
 - ▶ 社会状況、資源、効果等を総合的に検討





オンライン型国際教育交流での挑戦が
高等教育の次の進展につながることを期待して

ご静聴ありがとうございました